

報道関係者各位

東京大学のがん遺伝子パネル検査「Todai OncoPanel」の 先進医療B開始に伴う情報解析をテクナーが受託

株式会社テクナー（本社：東京都文京区、代表取締役社長：西村邦裕、以下テクナー）は、東京大学より、東京大学医学部附属病院（以下、東大病院）が実施するがん遺伝子パネル検査「Todai OncoPanel」の先進医療B開始に伴う情報解析を受託したことをお知らせいたします。

これまで東京大学はがん遺伝子パネル検査「Todai OncoPanel」を開発し、「ゲノム医療研究プロジェクト」において、その実用性を検証してきました。本プロジェクトにおいて、テクナーは遺伝子変異への臨床的な意義付けを行うために、ゲノム情報解析、遺伝子変異と薬剤との関係等を整理した知識データベースの構築、がん患者の遺伝子変異に合わせたレポート作成、Chrovis（クロビス）^(注1)の導入を含め、インフォマティクス面において協力してきました。テクナーは、今回の東大病院における「Todai OncoPanel」の臨床有用性を検証する本臨床性能試験においても、DNA パネル、RNA パネルを用いた次世代シーケンサー（以下、NGS）データの解析、知識データベースを用いた臨床的な意義付け、専門の医師らで構成されるエキスパートパネルのためのドラフトレポートの作成などを担当いたします。

近年、がん組織から、数多くの遺伝子を一度に網羅的に測定する遺伝子パネル検査、クリニカルシーケンス検査が開発されています。テクナーは、自然言語処理技術や人工知能技術を用いて、これらの検査に対応したソフトウェアの Chrovis を活用し、以下の取り組みを行ってきました。

1. NGS データから遺伝子情報の解析
2. エビデンスに基づいた遺伝子変異と薬剤(薬事承認された分子標的薬)、治験等の情報整理と知識データベースの充実化
3. データの品質確認、エビデンスレベルを踏まえた各個人に合わせたレポート作成の仕組み構築

今後、がん治療の個別化医療を加速するために、日本の拠点病院、アジアをはじめとした海外の先進的な医療機関との連携を目指すとともに、幅広く製薬産業や健康医療産業の企業とも協力をし、がんゲノム医療をはじめとした診療、研究に役立つシステムの構築・展開を進めていきます。

株式会社テクナー <https://xcoo.co.jp>

2011年創業の技術系ベンチャー企業。「最先端の情報技術を適切に用いて、医学研究、オーダーメイド医療、ゲノム創薬、遺伝子治療の継続的な発展を推進していく」というミッションのもと、自然言語処理技術や人工知能技術を用いたゲノム医療向けソフトウェア製品 Chrovis（クロビス）を開発、販売。テクナーは、ゲノム医療、プレシジョンメディスン（個人が最適な治療方法を分析・選択すること）の継続的な発展を目指し、テクノロジーやサービスを提供してまいります。

(注1) Chrovis(クロビス)とは

テクナーが開発する、個人に特化したゲノム情報の精密なレポート可能な、ゲノム医療における情報解析のためのトータルソリューションソフトウェアです。臨床検査基準相当の信頼性を保ち、次世代シーケンシング(NGS)による個人のゲノム情報をすべて自動的に解析し、膨大な文献情報を基にした知識データベースを用いて、患者ごとに個別化された診断・治療に直結するレポートの提供を目的としています。 <https://chrov.is>

本リリースに関する問い合わせ先

株式会社テクナー 東京都文京区本郷 4-2-5 TEL:03-3868-2374 Email: pr@xcoo.jp 担当:坂井・荒木